



第202号

令和8年1月1日発行

発行所

秋田県建設技能組合連合会

秋田市高陽青柳町1-43

電話 018(862)3050(代表)

FAX 018(862)3060

http://www.ginou.ac.jp



国際教養大学 中嶋記念図書館（秋田市雄和）
写真提供 国際教養大学

顧問 相談役 会長 副会長 専務理事 監事

富原 福原 御法 石井 柴田 高橋 佐藤 北村 柳井 小坂 藤井 高木 佐々木 櫻庭 出雲 武田 木村 吉野 長谷部 高橋 東屋

博淳 信浩 正武 賢一 金忠 幸敏 正 喜代 義一 義一 忠一 金一 留 宣明 英範 悦雄 一男 浩 之嗣 英郎 敏浩 司郎 實悦 美隆 雄美

秋田県建設技能組合連合会

令和八年 元旦

あけまして
おめでとーございます

組織の一員としてお客様に安心安全な技術を提供し、後継者育成のため設計労務単価の確保に努めましょう。

新年のご挨拶



秋田県建設技能組合連合会
会長 佐々木正美

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、健やかなる新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

さて、昨年は会員の皆様方が各分野において永年のご活躍によりその功績が認められ、多くの方々が国家表彰などの榮譽を受けられました。この度の栄えあるご受章、誠におめでとうございます。今後も益々ご活躍されますよう心より祈念いたします。

また、県連合会では令和七年事業も関係各位のご理解とご協力によりお陰様をもちまして無事終了することができました。しかしながら、会員の減少は各種事業の参加者が少ないことと連動しており、以前に比べ少し寂しい状況が続いております。今後は、県や関係団体等と協力しながら事業の開催時期の見直しや、参加者が多く集まるような新たな取り組みなど、今まで以上に工夫をして事業を盛り上げることも必要だと感じております。

九月には秋田県議会議員技能議員連盟との意見交換会が開催され、終了後は技能議員連盟の柴田会長などから十

月と十一月の二回に渡り、要望の趣旨やお客様とのやり取りの中で現場から挙がっている生の意見を聞いてもらうため、県の関係当局との三者による打合せの時間を設けていただきました。議員連盟の皆様には特に、新体制となつた鈴木知事への令和八年度に向けた陳情への道筋を付けていただくことができました。

今後は次年度の予算編成に向けもつと早い段階で要望をする必要があるというご意見もいただきました。特に県の各種住宅建設工事の補助事業であります「ウッドファーストあきた材県内住宅販路強化事業」での県産材の活用と、安心安全に暮らしていただくための「住宅リフォーム推進事業」での事業継続や県民のニーズにあつた要件緩和の実現に向け、引き続き県民の住生活がより豊かになるよう、今後も関係団体らと共に要望活動を進めて参ります。

また、県立技術専門校の活用についても担い手確保となるよう、建築技能者の人材育成を引き続きお願いいたしました。そのためには各単組や関係団体からのご協力をいただきながら、組織未加入者の加入促進や会員から必要とされる魅力ある組織を目指していきたいと思ひます。

十月には、平成二十五年から十二年ぶりとなる（一社）JBN全国工務店協会の北海道・東北ブロック会議を秋田県で開催し、他県の会員の方々と有意義な懇談の場を設けることができました。

した。秋田県からは三役の他に秋田杉匠の会より会員工務店が参加し、私をはじめ各県連合会工務店との交流を通して皆様方も大きな刺激をいただいたことと思ひます。引き続き、県連合会といたしまして工務店グループに有利となる情報提供に努めて参りたいと思ひます。

また、近年全国各地で大規模な自然災害が発生しております。特に我々は平成二十五年に県と締結した災害協定に基づき有事が起きた際には、各自治体からの依頼を受け協力をし、応急木造仮設住宅の建設にあたることとなっているため、（一社）JBN全国工務店協会を通じて、秋田建築労働組合と仮設住宅建設の協体制の構築に努めて参ります。県との協定締結後、広範囲で住宅が全壊するような甚大な被害は少なかったため大事には至っておりませんが、今後は特に各単組と協力を図りながら各自自治体との意見交換も進めて参りたいと思ひます。

最後になりますが、昨年も梅雨時期の短時間での記録的大雨で河川の氾濫や土砂災害など全県各地で住宅被害がありました。気候変動による異常気象が世界規模で発生しております。冬期間は特に高齢者による雪下ろしや除雪作業による事故が多いと思われれます。会員の皆様も安全に注意していただきながら、お仕事に従事され、共に暖かい春を迎えられますよう会員各位の益々のご健勝をご祈念し新年の挨拶といたします。

県連合会・県労組・県技能士会・建築技能者三団体による秋田県知事へ各種陳情をいたしました

令和八年度に向けた建築技能者のための要望を、顧問秋田県議会議員技能議員連盟の柴田正敏会長はじめ関係団体とともにを行いました。

一、秋田県の建築職人が加入している建設国保が実施する特定健診・保健指導に係る国保組合への助成の要望



二、急激に減少している県内の建築技能者の技術の継承を図るため、入職へつながる環境づくり、教育機関や県立技術専門学校と連携した担い手確保と人材育成の実施についての要望



三、秋田県産材の活用拡大のため「ウッドファーストあきた材県内住宅販路強化事業」の継続及び拡充についての要望

四、「住宅リフォーム推進事業」の継続及び拡充の要望

令和八年度の民間工事設計労務単価が決まりました

県連合会では、十一月二十七日（木）開催第三回理事会の「前年度の公共設計労務単価を翌年度の民間設計労務単価とする」という決定に沿って、令和八年度の民間工事労務単価を三万三千九百円／一日として決定いたしました。



第十一回
グラウンドゴルフ大会

九月二十一日

(日) 潟上市道の駅かたがみグランドパスくらかけグラウンドゴルフ場において、過ごしやすい穏やかな気候のもと行われた青年対策部・厚生部共同開催の全県グラウンドゴルフ大会は、総勢五十七名の参加により開催されました。例年より参加者は少なめでしたが、賞に該当する方が増え、表彰式など大いに盛り上がった大会となりました。



上位入賞者は左記の通りです。

- 団体の部(単組参加者五人以上)
- 優勝 仙北南部 (二五二打)
- 準優勝 大内 (二五三打)
- 第三位 五城目 (二八三打)
- 個人の部
- 一位 佐々木司佐子氏 (大内)
- 二位 坂本セツ子氏 (仙北南部)
- 三位 高橋隆治氏 (仙北南部)
- ※詳しい成績は単組まで。

秋田県議会議員技能議員
連盟との意見交換会

九月三十日(火)に秋田キャッスルホテルにおいて、

秋田県議会議員技能議員連盟(県議会議員連盟)と県議会議員連盟(県議会議員連盟)との意見交換会は、県連三役並びに各単組の代表二十二名の参加により開催いたしました。

始めに佐々木会長から令和八年度に向けた陳情に対する要望の報告と事務局の補足を行いました。その後、建設委員会の鈴木真実議員をはじめ議員連盟の方々より現状報告と活発な質疑応答が続ぎ、時間が足りないほど充実した意見交換の場となりました。

懇親会も三十三名の議員連盟の方々引き続きご参加いただき、当組合員との貴重で有意義な意見交換の場となりました。



第五十六回
全県技能組合研修

十一月一日(土)秋田県青少年交流センターユースバルにおいて、全県各単組の青年部および県連合会役員総勢十四名の参加により全県技能組合研修を開催いたしました。午前中は県生活環境部環境管理課 小玉正志チームリ

ダーを講師にお招きし、「秋田県の温暖化防止対策の取り組み」の講演をしていただき、午後からはYKKap(株)秋田支店鈴木孝太様による「住宅行政・業界を取り巻く環境とこれからの」の演題で建築セミナーを開催していただきました。どちらの講演も非常に勉強になった。最後に全体会では、県連合会の各部会の事業報告や県などの各種講習会を紹介し、知事への陳情の内容に関して、実現を高めようとする活発な意見が出て、今年度の研修を終了いたしました。



第六十二回
全県技能競技大会

十一月十三日(木)県立秋田技術専門校職業訓練センターにおいて、全県技能競技大会は青年の部のみの競技となり、二名により開催されました。選手たちは終始競技に集中し、最後の組立段階では、時間に余裕をもつての完成となり出来栄も良く、僅差で

の勝負となり、来られたOB、関係者も感心しておりました。

また、来年二月に大阪市で開催される技能グランプリへ挑戦するため、壮年の部に一名がオープン参加という形で課題に取り組み、県連合会からの代表としての推薦を決定いたしました。

当日は、秋田建設工業新聞社の取材もあり、真剣に課題に取り組み選手たちを記事に取り上げていただきました。

大会にあたり関係各位の皆様には、ご協力をいただき誠に有り難うございました。

○建築大工青年の部

第一位 (職) 秋田県建設技能協会会長賞 村上 典由氏 (仙北東部) (有)村上工務店

第二位 藤原 拓也氏 (仙北南部) (株)森田建築

第三位 なし

○建築大工壮年の部

オープン参加 齋藤 桃華氏 (大館) 藤建



2025ものづくりフェアin大曲開催
(県開、県技能士会主催)

6月の大館会場に続き、10月25日(土)に10職種(10団体)が家族連れや子供達を対象にものづくりの魅力を発信しました。参加した大曲仙北地域の単組の皆さん大変お疲れ様でした。



2025ものづくりフェアin大曲開催

会場：大曲地区民会館(大曲町大曲)

主催：秋田県建設技能協会、秋田県技能士会

協賛：大曲地区民会館

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30
31		

～参加団体～ 大曲建設技能組合

大曲建設技能組合は、大曲地区民会館(大曲町大曲)にあり、大曲地区の建設関係者による活動の場です。

大曲建設技能組合は、大曲地区の建設関係者による活動の場です。

令和七年度 県建設政策課による建設産業人材確保対策加速化支援事業を活用した取組み

大館組合では県建設産業活性化センターの補助金を活用し、市内の公共施設、学校など百箇所に無料で技能者カレンダーを配布することとなりました。日頃、若手の組合員が働いている様々な現場を紹介した写真を掲載し、建設業のイメージアップや入職につなげる一環としてあらたな取り組みを行いました。

ウッドファーストあきた材県内住宅販路強化事業
令和7年度秋田県住宅リフォーム推進事業

申請受付中

令和7年度・8年度

国・県 住宅関連各種補助事業制度

対象

みらいエコ住宅2026事業

対象世帯	対象住宅	補助額 ()は1～4地域
すべての世帯	GX志向型住宅	110万円/戸 (125万円/戸)
子育て世帯等※	長期優良住宅	最大95万円/戸 (100万円/戸)
	ZEH水準住宅	最大55万円/戸 (60万円/戸)

※「18歳未満の子を有する世帯(子育て世帯)」又は「夫婦のいずれかが39歳以下の世帯(若者夫婦世帯)」

蓄電池を設置する場合の補助事業

補助概要	補助率
DR※1に対応したリソース導入 拡大支援事業(仮)※2	3/10

※1ディマンド・リソースの格納、電力需要を利用することで、電力需給バランスを整える仕組み。
※2製造申請の必要あり。蓄電池システムに係る契約または受発注及び支払いは交付決定前の着手不可。

2025年の後継事業として、
2026年も『住宅省エネ2026
キャンペーン』の実施が正式
に発表されました。

詳しくは、国土交通省ホームページ
をご確認ください。

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000310.html



既存住宅の省エネリフォームにおける3省連携

○以下の各事業を組み合わせて利用する場合には、ワンストップの一括申請の実施を予定している。

工事内容	補助対象	補助額
①省エネ改修	1) 高断熱窓の設置 先進的窓リノベ2026事業	高性能の断熱窓 最大100万円/戸
	2) 給湯器 高効率給湯器の設置 給湯省エネ2026事業	高効率給湯器 最大17万円/台
	3) 開口部・躯体等の省エネ改修工事 既存賃貸集合住宅におけるエコジョーズ等取替 賃貸集合給湯省エネ2026事業	エコジョーズ/エコフィール 最大10万円/台
②その他のリフォーム工事※	既存住宅の省エネ改修 住宅の子育て対応改修など	最大100万円/戸

※ 省エネ改修と合わせて行うリフォーム工事に限る。

「自分は大丈夫」と 思っていないませんか?

毎年、65歳以上の方の雪による事故が多く発生しています。

死者の割合
65歳以上 65%

※平成26年～令和5年における
雪による被害状況(秋田県調べ)

**屋根・はしご
からの転落**

ヘルメット・命綱・墜落制止用器具を装着
「はしご」はしっかり固定

**除排雪中の
転倒**

定場の確認!
用水路等要注意!

屋根の雪のゆるみに注意!
暖かい日の午後は特に注意!

屋根からの落雪

雪下ろし、除排雪作業は2人以上で行いましょう
○やむを得ず1人で作業を行う場合は、家族や近所の方に声をかけてから行いましょう。

秋田県生活環境部 県民生活課

雪下ろし
注意情報
県生活課



詳しくはこちら

県リフォーム
詳しくはこちら



令和7年度
秋田県住宅リフォーム推進事業

	対象	補助額 (上限)
子育て世帯	持ち家型 18歳以下の子 供2人以上と 同居している 親子世帯	40万円 (補助対 象額の20%)
	中古住宅 購入型 18歳以下の子 供と同居して いる親子世帯	60万円 (補助対 象額の30%)
移住・ 定住型	定着回帰型 実家に戻る移 住世帯	40万円 (補助対 象額の20%)
	中古住宅 購入型 中古住宅を購 入した移住世 帯	60万円 (補助対 象額の30%)
断熱・ 省エネ改修 (防災減災 改修)	持ち家型 断熱改修、開 口の断熱、ユ ニットバス・ 省エネ設備 (熱交換型換 気・LED照明) の導入	8万円 (補助対 象額の10%)

増改築相談員講習会

日時・会場

令和八年二月七日(土)
新規・午前九時～

(講習時間七:五時間)
更新・午後二時～

(講習時間三:五時間)
県建設技能センター

受講料・定員

新規・会員二万九千円

会員以外三万八千円

更新・会員二万一千円

会員以外二万九千円

テキストのみ 六千円

登録期間

新規・登録共に五年間

更新対象者

令和二年に資格取得し
た方

登録先

(前)住宅リフォーム
紛争処理センター

※国の住宅リフォーム補
助事業において当相談員

資格の必要性が非常に高
まっております。事業所

の登録はもちろんのこ
と、リフォーム工事の需

要が多い現状において、
皆様には多くの資格を取

得してお仕事の受注につ
なげていただきますよう

お願いいたします。

相談できる専門家のいるお家へ

<住宅リフォームエキスパート>
増改築相談員

秋田県建設技能センター

登録期間 五年間

更新料 二万九千円

会員料 三万八千円

更新料 二万一千円

テキスト 六千円

建設国保からのお知らせ

令和八年三月に三年に一度の現況調査を行
います。個人事業所や一人親方として建設国
保に加入されている組合員は、令和七年の確
定申告の際の職業欄は変更がない限り、組合
に届出している業種「建築〇〇工事業」で届
出をお願いいたします。

事務局休業のお知らせ

十二月二十七日(土)より一月四日(日)
まで事務の取扱いを休ませていただきます。
なお、通常業務は一月五日(月)より行いま
すのでご不便をお掛けいたしますが、何卒ご
協力お願いいたします。



昭和56年以前に建築された住宅にお住まいの皆様 (木造住宅耐震改修等事業)
自己負担額1万円で耐震診断を実施できます!
(一部市町村を除く) 詳しくはお住まいの市町村にお問い合わせください。